

保 健 医 療 経 営 大 学
研 究 業 績

(平成20年4月～平成24年3月)

目 次

橋爪 章	p. 3
中村 康寛	p. 5
木下 勝一	p. 7
辻 正二	p. 8
伊達 卓二	p. 12
堺 孝明	p. 14
佐藤 哲三	p. 16
川島 秀樹	p. 17
樗木 浩朗	p. 19
林 勝裕	p. 20
丹羽 崇之	p. 22
内田 和実	p. 23
泉 賢祐	p. 24
白木 秀典	p. 25
山崎 敦俊	p. 27
萬代 望	p. 28
野崎竜太郎	p. 30
谷島 智徳	p. 31
石原 礼子	p. 32
藤原 大樹	p. 33
柴田実和子	p. 35
小手川巧光	p. 37

研究業績

■橋爪 章

I. 発表論文

著 書

氏 名	題 目	発表機関、発表年月
橋爪 章	医療・介護の連携（医療経営士・中級専門講座テキスト4）	日本医療企画、2010年8月
編者：ヘルスケア総合政策研究所 共著者：橋爪 章、尾形 裕也他	『2010年度版医療白書』担当部分：「第3編第8章 九州地方の特殊性を踏まえた医療費危機の克服と地域経済の活性化」(pp. 168～179)	日本医療企画、2010年11月
編者：ヘルスケア総合政策研究所 共著者：橋爪 章、西村 周三他	『2011年度版医療白書』担当部分：「第4編第2章 高齢患者の増加に対応する医療供給体制について」(pp. 172～186)	日本医療企画、2011年9月

総 説

氏 名	題 目	発表機関、発表年月
橋爪 章	医療崩壊をくい止める	保健医療経営大学紀要、創刊号、2009年1月

II. 学術集会活動

学術集会での発表および講演

氏 名	題 目	発表機関、発表年月
橋爪 章	地方都市経済における医療費の意義について	第8回日本医療経営学会学術総会、2009年10月、仙台市
橋爪 章	九州地方の医療の地域経営の方向性	第9回日本医療経営学会学術総会、2010年11月、福岡市
橋爪 章	リスクゼロを求め（られ）て－制度設計の立場から	第58回日本輸血細胞治療学会総会、2010年5月、名古屋市
橋爪 章	平成22年度診療報酬改定の検証・座長	第9回日本医療経営学会学術総会、2010年11月、福岡市
橋爪 章	地域再生と医療機関の対応・座長	第9回日本医療経営学会学術総会、2010年11月、福岡市
橋爪 章	Influenza Pandemic(H1N1)2009:Lessons Learned and Future Challenges :Chairman	第8回アジア太平洋渡航医学会、2010年10月、奈良市

その他の活動

I. 社会貢献・地域交流

公開講座

氏 名	題 目	発表機関、発表年月
橋爪 章	みやま市の医療費について	みやま市議会、2008年6月
橋爪 章	後期高齢者医療制度	みやま市民生委員協議会、2008年10月
橋爪 章	カンボジアと日本	みやま市南小学校、2008年11月
橋爪 章	医療の動向について	久留米東ロータリークラブ、2009年4月
橋爪 章	国際協力について	広川町教育委員会、2009年7月
橋爪 章	医療の動向について	西日本シティ銀行、2009年8月
橋爪 章	医療サービスの充実と保険財政の健全化	福岡県国民健康保険診療施設運営協議会、2009年9月
橋爪 章	いのちを守る人たち	みやま市南小学校、2010年7月
橋爪 章	介護保険制度の動向	日本眼科医会、2010年9月
橋爪 章	医療費と地域経済	大阪市立大学、2010年10月
橋爪 章	医療費と地域経済	福岡県内市町村行財政課長会議、2010年11月
橋爪 章	医療の動向について	熊本県医療法人事務長会、2011年2月
橋爪 章	医療の動向について	熊本市内科医会、2011年6月
橋爪 章	今後の医療経営戦略	アジアメディカルショー、2011年7月
橋爪 章	診療報酬改定の方向性	大分医師会館、2011年9月
橋爪 章	健康問題を考える	みやま市（葦の会）、2011年9月
橋爪 章	医療保障の行方	静岡県眼科医会、2011年10月
橋爪 章	医療保障の行方	福岡市（ばんぼうフォーラム）、2011年11月
橋爪 章	診療報酬改定の方向性	東京（自治体病院改革セミナー）、2011年11月

橋爪 章	健診と健康管理	紋別市・保健医療福祉連携市民フォーラム、2011年12月
橋爪 章	医療制度の動向	東京・大阪・福岡（TKC全国医業会計システム研究会）、2012年1～2月
橋爪 章	診療報酬改定の方向性	日本病院会熊本県支部、2012年1月
橋爪 章	介護保険の基礎知識	名古屋市（東海北陸眼科医会生涯教育講座）、2012年2月
橋爪 章	医療保障の行方	福岡市（医療経営管理研究会）、2012年3月
橋爪 章	医療保障の行方	熊本市医師会、2012年3月
橋爪 章	災害時の医療継続計画	福岡市ガスホール、2012年3月
国公立機関などの審議委員		
氏 名	所 属 機 関	担 当 委 員、担 当 年 月
橋爪 章	マダガスカル国エイズ予防対策強化プロジェクト国内支援委員会委員長	国際協力機構、2008年度～2012年3月に至る
橋爪 章	みやま市・総合計画審議会副会長	みやま市、2008年度
橋爪 章	小竹町・行政改革推進委員会会長	小竹町、2009年度
II. 国際交流・国際協力		
氏 名	題 目	発 表 機 関、発 表 年 月
橋爪 章	ケニア国輸血血液安全性確保プロジェクト	国際協力機構、中間評価調査団員（2008年7月）、終了時評価調査団員（2009年6月）
橋爪 章	マダガスカル国エイズ予防対策強化プロジェクト	国際協力機構、運営指導調査団員（2011年2月）
橋爪 章	病院経営財務管理コース「リーダーシップと管理」講師	国際協力機構、2009年10月、2010年11月、2011年10月
橋爪 章	マダガスカル国研修生受け入れ	国際協力機構、2012年3月
橋爪 章	ベトナム研修コース「社会保障体制」講師	国際協力機構、2011年6月
橋爪 章	ウズベキスタン研修コース「社会保障体制、健康日本」講師	国際協力機構、2011年7月
橋爪 章	国際協力専門家能力強化研修「母子保健コース」講師	国際協力機構、2011年8月
橋爪 章	スリランカ国研修コース「非感染症対策」講師	国際協力機構、2012年2月
III. その他		
氏 名	題 目	発 表 機 関、発 表 年 月
橋爪 章	みやま市・食の祭典実行委員会会長	みやま市、2009年度、2010年度
橋爪 章	学校法人聖マリア学院評議員	聖マリア学院、2008年度～2012年3月に至る
橋爪 章	医療法人弘恵会倫理委員会委員	ヨコクラ病院、2011年3月～2012年3月に至る

研究業績

■中村 康寛

I. 発表論文		
原 著		
氏 名	題 目	発表機関、発表年月
(1) Sugita Y, <u>Nakamura Y</u> , Yamamoto M, Ogasawara S, Ohshima K, Shigemori M	Expression KIAA0864 protein in neuroepithelial tumors: an analysis based on the presence of monoclonal antibody HFB-16. J Neurooncol.	J Neurooncol. 89 ; pp.151-158, 2008
(2) Sakamoto K, Ono T, <u>Nakamura Y</u> , Harada H, Nakashima T	Expression of cluster of differentiation 9 glycoprotein in benign and malignant parotid gland tumours.	J Laryngol Otol. 123; pp. 58-63, 2009
(3) Yamamoto A, Shofuda T, Omedul Islam M, <u>Nakamura Y</u> , Yamasaki M, Okano H, Kanemura Y	ABCB1 is predominantly expressed in human fetal neural stem/progenitor cells at an early development stage.	J Neuroscience Research 87; pp. 2615-2623, 2009
(4) Fotovati A, Abu-Ali S, Wang PS, Lee C, Chen JY, Franciosi S, Triscott J, <u>Nakamura Y</u> , Sugita Y, Uchiyama T, Leavitt BR, Singh SK, Reynolds B, Jury A, Jones C, Wakimoto H, Pallen CJ, Dunn SE	B-1 bridges neural stem cells and brain-tumor initiating cells via its roles in differentiation and cell growth.	Cancer Research. 71 ; pp. 1-10, 2011
(5) Fotovati A, Abu-Ali S, Sugita Y, <u>Nakamura Y</u>	Expression of N-myc downstream regulated gene 1 (NDRG1) in central neurocytoma.	J Clin Neurosci. 18 ; pp. 1383-1385, 2011
著 書		
氏 名	題 目	発表機関、発表年月
編者：渡辺 照男 共著者：青木 洋介、浅田 祐士郎、 <u>中村 康寛</u> 他 21名	カラーで学べる病理学3；再生と修復、10；新生児の病理	ヌーヴェルヒロカワ pp. 23-30, pp. 113-122 2009
II. 学術集会活動		
学術集会での発表および講演		
氏 名	題 目	発表機関、発表年月
武井 美和、檜垣 浩一、 <u>中村 康寛</u> 、谷川 健、大田 喜孝、伊藤 園江、塚本 孝久、中野 祐子、大田 桂子、高橋 光彦	乳腺症に非浸潤性乳管癌(DCIS)と非浸潤性小葉癌(LCIS)が併存した微小乳癌の1例。	49回日本臨床細胞学会総会 2008年6月、東京都
深川 良隆、檜垣浩一、 <u>中村 康寛</u> 、大田 喜孝、伊藤 園江、塚本 孝久、原武 晃子、榎田 明美、葉 清泉	原発巣の推定に免疫細胞化学染色が有用であった卵巣原発移行上皮癌の1例。	第49回日本臨床細胞学会総会 2008年6月、東京都
<u>中村 寛樹</u> 、 <u>中村 康寛</u>	環境と福祉を統合した持続可能な社会づくりに関する研究～顕在化する地球環境問題と持続可能な社会論～	環境福祉学会、第5回年次大会(総会) 2009年11月、東京都
堺 孝明、谷島 智徳、石原 礼子、 <u>中村 康寛</u>	インターベンションの差異分析による費用対効果の検討	第46回 日本医療・病院管理学会、2008年11月、静岡
Sakai T, <u>Nakamura Y</u>	Beneficial effect in Heart Rate Variability and IGF-I after treatment with atorvastatin in hypercholesterolemic patients	第59回 聖マリア医学会研究会、2009年2月、久留米
萬代 望、堺 孝明、 <u>中村 康寛</u>	保健医療経営についての高等学校の認識と保健医療経営人材の必要性に関する一考察(一般演題)	第59回 聖マリア医学会研究会、2009年2月、福岡県久留米市
堺 孝明、谷島 智徳、石原 礼子、 <u>中村 康寛</u>	インターベンションの差異分析による費用対効果の検討	第46回 日本医療・病院管理学会学術総会、2008年11月、静岡県静岡市
IV. その他		
氏 名	題 目	発表機関、発表年月
特許権者：独立行政法人産業技術総合研究所 発明者：金村 米博、山本 篤世、山田 登美子、 <u>中村 康寛</u> 、山本 統彦、小田 えり子	ヒト神経幹細胞に選択的なモノクローナル抗体及びこれを用いたスクリーニング方法	特許第4454554号 平成22年2月12日

その他の活動		
I. 社会貢献・地域交流		
学会の各種委員等		
氏 名	所 属 機 関	担当委員、担当年月
中村 康寛	第24回日本臨床細胞学会 福岡県支部総会	学会長 平成20年12月7日
III. その他		
氏 名	資 格	所属機関、取得年月
中村 康寛	診療情報管理士 第19194号	日本病院会 2010年5月1日
中村 康寛	診療報酬請求事務能力認定試験(医科)：医第1330848号	日本医療保険事務協会 2011年2月18日
中村 康寛	医療経営士2級第21102070008号	日本医療企画 2011年11月15日

研 究 業 績

■木下 勝一

I. 発表論文		
原 著		
氏 名	題 目	発表機関、発表年月
木下 勝一	ドイツ連邦法務省の商法会計法現代化の意義—参事官草案にみるヨーロッパの代替的選択モデル	『会計』（森山書店）174巻1号、2008年7月、pp. 130～142
木下 勝一	ドイツの公認会計士業務に対する職業監督と職業裁判所	『企業会計』（中央経済社）61巻1号、2009年1月、pp. 99～105
木下 勝一	ドイツの会計制度改革とIFRS導入	『財務会計研究』（財務会計研究学会）3号、2009年3月、pp. 1～3
木下 勝一	ドイツ商法における公正価値評価の導入問題	『産業経理』（産業経理協会）69巻1号、2009年5月、pp. 4～13
木下 勝一	IAS/IFRSと税務上の利益計算—ヘルツィヒの基準性原則廃止後の将来像に関する所説	『会計』（森山書店）、第177巻5号、2010年5月、pp. 736～751頁
木下 勝一	IAS/IFRSとエンフォースメント—ドイツの財務報告エンフォースメントモデル	『企業会計』（中央経済社）、第62巻6号、2010年6月、pp. 859～865
木下 勝一	ドイツ会計基準委員会の新しい秩序への転換	『企業会計』（中央経済社）、64巻1号、2012年1月、pp. 133～139
総 説		
氏 名	題 目	発表機関、発表年月
木下 勝一	村瀬儀祐著『会計理論の制度分析』、『会計』（森山書店）（書評）	180巻1号、2011年7月、pp. 143～146
III. 研究助成		
文部科学省科学研究費		
氏 名	題 目	助成機関、助成年月
木下勝一	IAS/IFRS準拠の個別決算と配当・税計算テストの改革テーマに関する研究	科学研究費基盤研究（C）平成22年度—平成24年度、平成22年度 直接経費 120万円、間接経費 36万円 計156万円、平成23年度 直接経費 100万円、間接経費 30万円 計130万円、平成24年度 直接経費 90万円 間接経費 27万円 計117万円

研 究 業 績

■辻 正二

I. 発表論文

原 著		
氏 名	題 目	発表機関、発表年月
辻 正二	時間学からみた若者像ー若者の時間意識ー	『文明』（東海大学文明研究所） 2009年3月 pp. 3～12 査読有
辻 正二	市町村合併に関する時間社会学的分析	『社会分析』（日本社会分析学会）2009年3月 pp. 5～27 査読有
辻 正二	近代社会と時間：いまなぜ東アジアの暦か？	時間学研究所国際シンポジウム予稿集（山口大学時間学研究所）2009年11月 pp. 1～16
辻 正二	若者・子どもの生きにくさー日常に潜む『病い』のはじめに	『現代の社会病理』（日本社会病理学会）第24号 2009年 pp. 1～5 査読有
辻 正二	時間社会学の可能性と課題	『西日本社会学年報』（西日本社会学会）第9号 2011年 pp. 3～20 査読有
辻 正二	時間学からみた日本社会の諸問題	昌原大学校人文科学研究所学術会予稿集 2011年 pp. 7～42 査読無
辻 正二	マーソンの時間社会学の可能性	『やまぐち地域社会研究』 2012年3月 pp. 1～12 査読有

著 書		
氏 名	題 目	発表機関、発表年月
監修者：辻 正二 共著者：辻 正二、青山 拓央、石田 成則、一川 誠、井上 慎一、鎌田 祥仁、藤沢 健太、松野 浩嗣、森野 正弘	『時間学概論』， 担当部分：「第8章 現代社会における社会的時間」（pp. 167～194）	恒星社厚生閣、 2008年4月
三浦 典子、辻 正二	『台湾の都市高齢化と社会意識』，担当部分：「第7章 台湾における高齢者差別意識」（pp. 135～171） ，担当部分：「終章 高齢社会台湾の将来展望」（pp. 215～234）	溪水社、2010年3月
丸本 卓哉、早川 誠而、藤原 貞雄、松井 範惇、辻 正二、坪郷 英彦、浮田 正夫、植村 高久 他	『貴州省の持続的発展をめざしてー環境・農村・文化と人材育成ー』， 担当部分：「第10章 苗族・トン族の高齢化と生活時間」（pp. 257～277）	文一総合出版、2010年8月 pp. 1～118
編 者：辻 正二、王 美玲、高橋 成仁、原田 規章、石田 茂則、松野 浩嗣	『大学生の時間意識調査報告書』	時間学研究所、2010年3月 pp. 1～118
編 者：辻 正二、翟 金榮	『高齢者の時間意識調査報告書』	時間学研究所、2011年3月 pp. 1～112
編 者：辻 正二、王美玲、高橋 成仁、原田 規章、石田 茂則、松野 浩嗣	『現代社会におけるスピード化と人間のリズムのズレに関する時間学的研究』	時間学研究所、2011年3月 pp. 1～181

総 説		
氏 名	題 目	発表機関、発表年月
辻 正二	「時間学といえば、山口大学」目指して	文部科学 教育通信（教育新社） pp. 28～29 2008年6月
辻 正二	時間とは何か	『Breathing』2月号 vol. 30 6頁 2010年2月
辻 正二	時間学の試み：辻正二の場合	雑誌『世界の腕時計』 N01 p. 43 2009.
辻 正二	現代社会を支配する「時間規律」	イノヴァ（Innover）春号 16～17号 2009年4月
辻 正二	「時間学への招待①～⑧」と題して8回の連載	中国新聞『緑地帯』2009. 10. 7～10. 17
辻 正二	「刊行に寄せて」（S. パートン著 『ハイパーカルチャー』）	ミネルヴァ書房、2011年4月30日
辻 正二	ネット・ケータイ時代の時間社会学	情報処理（情報処理学会） vol152 No6 2011年5月 pp. 641～642

II. 学術集会活動

学術集会での発表および講演		
氏 名	題 目	発表機関、発表年月
辻 正二	都市部における生涯現役社会づくりの一考察	第18回山口地域社会学会例会、2008年7月、山口市
辻 正二	高齢期における時間利用と時間意識	第118回日本社会分析学会、2009年12月、福岡市
辻 正二	生涯現役社会づくりと時間学	イブニングセミナー（東京）、2010年1月、東京都
辻 正二	大学生の時間意識に関する日中比較研究ー調査結果の中間報告ー	山口地域社会学会、2010年3月、山口市
辻 正二	社会的高速社会論とその研究視座	時間学セミナー、2010年3月、山口市
辻 正二	日本人にとって正月とは何か：時間意識から見た分析	第2回日本時間学会、2010年6月、山口市

辻 正二	ハイスピード社会の病理構造とその問題性	第26回日本社会病理学会、2010年9月、大阪市
辻 正二	時間学研究のすすめ 時間学という学問の可能性	第1回山口大学イブニングセミナーin福岡 2011年2月 福岡市
辻 正二	東日本大震災と時間学	第3回日本時間学会(文部科学大臣表彰科学技術賞記念講演)、2011年6月、山口市
辻 正二	人生における転機現象の時間社会学的研究	日本社会分析学会、2011年7月、福岡市
辻 正二	時間学の社会学的意味	日本村落研究学会九州地区大会、2011年8月、熊本県
辻 正二	運動・出来事・意味づけと健康問題	時間学セミナー：第一研究グループ(フォーラムスペース) 2011.9.26 山口市
辻 正二	時間学と働く環境づくり	同仁病院職員研究会、2011年10月、山口市
辻 正二	超高齢社会の生き方：時間学からの提案	新居浜高専工業技術懇談会、2011年12月、新居浜市

学術賞

氏名	題目	受賞機関、受賞年月
辻 正二	「時間学的学問の確立とその研究成果の普及啓発」について文部科学大臣表彰科学技術賞(理解増進部門)を受賞	文部科学省、2011年4月20日

III. 研究助成

文部科学省科学研究費

氏名	題目	助成機関、助成年月
辻 正二(代表)	現代社会におけるスピード化と人間のリズムのズレに関する時間学的総合研究	萌芽研究、期間：平成19年度～平成20年度、研究経費(千円)：平成19年度；2,000、平成20年度；1,300
辻 正二(代表)	現代社会におけるスピード化と人間のリズムのズレに関する時間学的総合研究	基盤研究(B)、期間：平成21年度～平成23年度、研究経費(千円)：平成21年度；7,800、平成22年度；3,120、平成23年度；4,160
辻 正二(代表)	安心安全な社会構築のための時間政策の研究	挑戦的萌芽研究、期間：平成24年度～平成26年度、研究経費(千円)：平成24年度；910、平成25年度；2,340、平成26年度；780

その他の活動

I. 社会貢献・地域交流

公開講座

氏名	題目	発表機関、発表年月
辻 正二	家族支援の地域社会づくりと「家庭の日」	平成20年度山口県青少年育成県民会議総会(山口県青少年育成県民会議主催)2008年5月22日、山口市
辻 正二	時間学からみた生涯現役社会づくり	第6回SLA養成講座(財団法人SLA協会主催)、2008年6月7日、広島市
辻 正二	いま求められる「子育て文化」と「家庭の日」	平成20年度美東町青少年育成町民会議総会(美東町青少年育成町民会議主催)、2008年6月28日、美祿市
辻 正二	時間学からみた現代の若者：若者の時間意識	東海大学文明研究所公開講演会(東海大学文明研究所主催)、2008年12月18日、平塚市
辻 正二	生涯現役であり続けるために	阿知須熟年式記念講演(阿知須町社会福祉協議会)2009年1月12日、山口市阿知須
辻 正二	生涯現役社会における社会参加と自立・健康	やまぐちシニア地域マスターカレッジ、2009年5月27日、山口市
辻 正二	時間学からみた選挙：現在において時を動かすということ	平成21年度選挙をきれいにする国民運動山口県大会2009年8月7日、山口市
辻 正二	協働のまちづくりと島地地区の活性化	徳地町商工会主催、2009年8月26日、山口市徳地町
辻 正二	時間学と犯罪のないまちづくり	平成21年度犯罪のないまちづくり県民大会、2009年10月13日、下関市
辻 正二	地域の元気は、自治会の元気から	自治会グレードアップセミナー(周陽地区自治会連合会・周陽公民館主催)、2009年10月25日、周南市
辻 正二	時間学への招待	平成21年度広島県技術士センター主催第2回交流研修会・講演会、2009年12月19日、広島市
辻 正二	生涯現役社会づくりと時間学	山口大学イブニングセミナー2009(山口大学主催)2010年1月8日、東京都港区
辻 正二	時間学からみた高齢社会の課題	光市立大和総合病院院内職員学会記念講演(光市立大和総合病院主催)、2010年1月16日、光市
辻 正二	時間学とまちづくり	のんた村塾講演会(のんた村塾主催)「時間学とまちづくり」、2010年3月25日、山口市

辻 正二	これからの老人クラブのあり方とまちづくり	輝き周南大学（周南市老人クラブ連合会主催）2010年5月21日、周南市
辻 正二	40歳からの生涯現役社会づくり	フォーティ・セミナー、2010年8月3日、山口市
辻 正二	時間学の視点を活かした安心・安全なコミュニティづくり	柳井市教育委員会主催（文化福祉会館）、2010年8月16日、柳井市
辻 正二	老人クラブの時間を活かしたまちづくり	宇部市老人クラブ連合会主催第48回宇部市老人福祉大会、2010年8月26日、宇部市
辻 正二	時間学で人生の春夏秋冬を学ぼう	NP0法人ふるさとボランティアあど設立10周年記念講演会、2010年10月16日、山口市
辻 正二	時間学からみた人づくり、まちづくり	大道公民館文化講演会、2011年2月19日、防府市
辻 正二	犯罪の起きにくい社会づくり 一人・地域社会・時間学の視点から	岡山県警（岡山県運転免許センター）2011年5月19日 岡山市
辻 正二	これからの老人クラブのあり方とまちづくり：集団参加と時間学	輝き周南大学（周南市老人クラブ連合会主催）2011年5月20日、周南市
辻 正二	高齢者のライフサイクルと時間利用	セカンドライフセミナー（株式会社トクヤマ）、2011年6月10日、周南市
辻 正二	社会の時間：時間学	山口大学公開講座：時間学への招待、2011年6月25日、山口市
辻 正二	定年退職後の長い人生の過ごし方	シニア就業支援講座（柳井市文化福祉会館）大会議室、2011年8月23日
辻 正二	安心・安全な社会をつくるために	山口県教育委員会（防犯教育研修会）山口県庁3階職員ホール、2011年8月24日、山口市
辻 正二	老人クラブを生涯現役クラブにしよう！	平成23年度きららシニア山口やまぐち若手・女性はつらつセミナー、2012年3月15日、山口市
メディアによる発表		
氏 名	題 目	発表機関、発表年月
辻 正二	時計と時間テーマに	毎日新聞（22面）（地域版）「時計と時間テーマに」、2008年6月20日
辻 正二	枠を超えて時間学会発足へ	中国新聞16版、2009年6月11日
辻 正二	「おはようKRY」パーソナリティ 徳本恵子「時間学研究の学術講演会について」	山口放送ラジオ、午前9:10～9:17放送、平成20年6月13日
辻 正二	日本時間学会の初代会長に就任した山口大教授	読売新聞2面「顔」欄に掲載される、2009年6月30日
辻 正二	「ザ・ホットライン～東京わがままモーニング」に出演 時間学会と旧暦の良さを話題にする	ラジオ日本 朝7:35～7:44頃（生放送）2009年7月9日 東京
辻 正二	人物現在形	西日本新聞文化欄に日本時間学会初代会長に就任として掲載される、2009年7月25日
辻 正二	RKBラジオの「中西一清スタミナラジオ」に出演	山口大学 人文学部教授 日本時間学会 初代会長 辻正二 朝8時10分から15分（生番組）2009年7月27日
辻 正二	週刊新潮掲示板	『週刊新潮』7月30日号80頁に辻正二として掲載、2009年7月30日
辻 正二	週刊新潮掲示板	『週刊新潮』9月24日号82頁に辻正二として掲載、2009年9月24日
辻 正二	FMやまぐち「大人ウォーク」に出演 トークの話題は、時間学と時間学会についてであった。	土曜日（PM20:00～20:55）、2009年11月28日
辻 正二	いまどきのカウントダウン	『日本経済新聞』（夕刊）、2009年12月21日
辻 正二	12面の「『新しさ追求』に警鐘」、13面の「時をみつめて」	読売新聞、2010年1月5日
辻 正二	時間とは何か？	『Breathing』Vol. 30 6頁、2010年2月10日
辻 正二	ジカンガクの世界	辻正二、藤澤健太、明石真、青山拓央、一川誠『大人の科学』学研、pp. 52～57、2010年7月30日

辻 正二	大塚邦明・辻正二・あらかわ菜美のコメント『曜日孝』毎日新聞夕刊	毎日新聞夕刊、2011年2月8日
辻 正二	初日に辻正二・山大時間学研究所長が講演	『ほうふ日報』、2011年2月22日
辻 正二	豊かな時間を生きる	『Live』（山口市民安全部人権推進課 山口男女共同参画ネットワーク」発行）12号、pp.2～5、2011年2月
国公立機関などの審議委員		
氏 名	所 属 機 関	担当委員、担当年月
辻 正二	山口県社会福祉協議会理事	理事、平成18年～現在まで
辻 正二	山口市協働のまちづくり市民会議（山口市）	委員（会長）、平成19年7月～21年3月
辻 正二	山口県子育て文化審議会委員（山口県）	委員（会長）、平成20年～現在まで
辻 正二	やまぐち犯罪のない安全で安心なまちづくり推進協議会委員	委員、平成21年～現在まで
辻 正二	山口県明るい選挙推進協議会委員	理事、平成14年～現在まで
辻 正二	山口市協働のまちづくり協議会（山口市）	委員（会長）、平成19年～現在まで
辻 正二	大内まちづくり計画策定委員会委員（山口市大内地域交流センター）	会長、平成21年12月～平成23年3月
辻 正二	山口市住居表示審議会委員（山口市）	委員長、平成22年7月～平成23年3月
辻 正二	やまぐちの美しい里山・海づくり条例基本方針検討委員会	委員長、平成21年4月～22年3月まで
辻 正二	「やまぐちの美しい里山・海づくり条例」検討懇話会	座長、平成23年3月まで
辻 正二	特定非営利活動法人 やまぐち県民ネット21	理事長、平成14年～現在まで
辻 正二	県民活動出前アドバイザー	アドバイザー、平成14年～現在まで
学会の各種委員等		
氏 名	所 属 機 関	担当委員、担当年月
辻 正二	日本時間学会	会長（平成21年～24年年度）
辻 正二	西日本社会学会	監査、理事、会長（平成20年～23年度）
辻 正二	山口地域社会学会	会長（平成20年～23年度）
辻 正二	日本社会分析学会	理事（平成22年～23年度）
辻 正二	日本社会病理学会	編集理事（平成22年～23年度）
辻 正二	生涯現役社会づくり学会	会長（平成20年～23年度）
II. 国際交流・国際協力		
氏 名	題 目	発表機関、発表年月
辻 正二	若者の時間、高齢者の時間	山口大学貴州大学学術交流講演会（言語学院日本語学科主催）、2009年3月25日、講師
辻 正二	東アジアの暦と近代化	時間学研究所国際シンポジウムの司会と基調講演を担当する、2009年11月、基調講演（講師）
辻 正二	時間学からみた日本社会の諸問題	昌原大学校、人文科学研究所学術（日中韓三ヶ国学術交流会）、2011年11月

研究業績

■伊達 卓二

I. 発表論文		
原 著		
氏 名	題 目	発表機関、発表年月
Sitra Mulepo, Akiko Niwa, <u>Takuji Date</u> 伊達 卓二	Establishing an inventory-based medical equipment management system in the public sector: an experience from Uganda グローバル化する医療セクターへの民間投資：アフリカン・ビジネス誌の特集記事を中心として	Health Technol., (1) pp. 47-56, February 2011, DOI 10.1007/s12553-011-0002-3 保健医療経営大学紀要、No.3、 pp. 9～15、 2011年3月
A. Ohkado, R. Poblete, M. Mercader, A. Querri, P. Agujo, F. Tang, A. Medina, L. Vianzon, J. Lagahid, <u>T. Date</u>	Effectiveness of a training course on the quality assurance of chest radiography in the Philippines	Int. J. Tuberc. Lung Dis., 16(3)pp. 379～383, March 2012, http://dx.doi.org/10.5588/ijtld.11.0436
<u>Takuji DATE</u> , Peter METZGER, Yohei ISHIGURO, Akira SHIMOUCI 藤倉 友、磯東 一郎、 <u>伊達 卓二</u>	A breakthrough for the quality assurance of chest radiography with a simple quality assessment tool スタディツアー受入機関の役割と今後の展望 -ISAPHラオス事務所の事例から-	Journal of International Health, 27(1) pp. 79～86, March 2012 保健医療経営大学紀要、No.4、 pp. 1～8、 2012年3月
著 書		
氏 名	題 目	発表機関、発表年月
<u>T. Date</u> , Y. Ishiguro, K. Okada, C. Chen-Yuan, M. Cleef, C. Daley, D. Enerson, H. Gatahun, K. Ito, P. Metzger, I. Onozaki, P. Suarez 中園 直樹、宮本 和子、 <u>伊達 卓二</u>	Handbook for District Hospitals in Resource Constrained Settings on Quality Assurance of Chest Radiography: for better TB control and health system strengthening 『国際看護への学際的アプローチ』、担当部分：「第2章 国際人道援助としての国際医療協力-カンボジアプロジェクトを例として」	The Tuberculosis Coalition for Technical Assistance, pp. 1～68, July 2008 Available at [http://www.tbcta.org/Library/] 日本放射線技師会出版会、 pp. 19～39、 2009年3月
総 説		
氏 名	題 目	発表機関、発表年月
伊達 卓二	ウガンダにおける「保健インフラ・マネジメント」の現状	月刊新医療、 p. 22、 2011年9月1日
その他		
氏 名	題 目	発表機関、発表年月
報告書 JICA中間調査団：諸永、 <u>伊達 卓二</u> 、増井、竹、Mwafurirwa, Funsani, Kang'ombe, Zimpita, Hassan, Mkukuma	マラウイ共和国医療機材維持管理プログラム支援プロジェクト中間評価調査報告書（報告書番号：08-001）	国際協力機構(JICA)、 pp. 18～21、 2008年11月
JICA中間レビュー調査団：瀧澤、 <u>伊達 卓二</u> 、吉武、清水	エリトリア国「保健医療サービス向上のための医療機材管理システム強化プロジェクト」中間レビュー調査報告書	国際協力機構(JICA)、 pp. 27～29、 2010年1月
JICA中間調査団：星野、 <u>伊達 卓二</u> 、増井、竹、塩塚、Nathan Mwafurirwa	マラウイ共和国医療機材維持管理プログラム支援プロジェクト終了時評価調査報告書（報告書番号：10-001）	国際協力機構(JICA)、 pp. 25～30、 2010年2月
JICA終了時評価調査団：菊地、 <u>伊達 卓二</u> 、井上	エリトリア国「保健医療サービス向上のための医療機材管理システム強化プロジェクト」終了時評価調査報告書	国際協力機構(JICA)、 pp. 40～48、 2011年3月
II. 学術集会活動		
学術集会での発表および講演		
氏 名	題 目	発表機関、発表年月
K. Okada, <u>T.Date</u> , K. Itou, I. Onozaki	Usefulness of a simplified tool for quality assessment for chest radiography	39th Union World Conference on Lung Health, 18 October 2008, Paris, France
<u>T. Date</u> , P. Metzger, Y. Ishiguro, A. Shimouchi	A breakthrough for quality Assurance of chest radiography with a simple quality assessment tool	41st Union World Conference on Lung Health, 14 November 2010, Berlin, Germany
<u>T. Date</u> , C. Sambo, C. Kimsreng	Disregarded standards for the specification of x-ray units in public hospitals: An example from Cambodia	21st Congress of the International Federation of Hospital Engineering, 18 November 2010, Tokyo
伊達 卓二	医療機器運営支援プロジェクトの可能性と課題：アフリカ3か国(ウガンダ・エリトリア・マラウイ)のプロジェクト経験から	第26回日本国際保健医療学会学術大会、2011年11月6日、東京
萬代 望、 <u>伊達 卓二</u>	胸部X線写真の画質向上を目的とした支援システムの開発：フィリピンにおける結核対策の事例	第31回医療情報学連合大会、2011年11月21日、鹿児島市
<u>伊達 卓二</u> 、宮地 宏昭、出澤 紗梨衣、大関 千尋、秦野 環	第1回海外フィールドワークを実施して：教訓と課題	第62回聖マリア医学会、2012年1月28日、久留米市
秦野 環、出澤 紗梨衣、大関 千尋、 <u>伊達 卓二</u> 、宮地 宏昭	開発途上国の災害看護を考える	第62回聖マリア医学会、2012年1月28日、久留米市

I. Onozaki, K. Okada, T. Date	Chest radiography in the diagnosis of tuberculosis and other lung diseases for clinical and epidemiological purposes	39th Union World Conference on Lung Health, 18 October 2008, Paris, France
伊達 卓二	国際協力機構（JICA）が支援する途上国の結核対策と医療機器保守管理	東京都診療放射線技師会、2010年9月17日、東京
伊達 卓二	Medical equipment management for "better quality health services"	JICA集団研修「病院経営・財務管理（A）」、2011年11月1日、聖マリア学院大学、久留米市
Takuji DATE	Quality Chest Radiography	57th Foundation Anniversary and 42nd Annual National Convention of the Philippine Association of Radiologic Technologists, 2 December 2011, Baguio city, Philippines
伊達 卓二	Medical equipment management for "better quality health services"	JICA地域別研修「南東欧地域 医療施設運営」、2012年2月9日、聖マリア学院大学、久留米市
その他の助成		
氏 名	題 目	助成機関、助成年月
伊達 卓二（公益財団法人 結核予防会）	Technical Assistance on "Guide for Quality Diagnosis and Role of X-ray"	The Tuberculosis Coalition for Technical Assistance (TBCTA:結核技術支援連合):USAID（米国援助庁）、2007年10月～2008年9月
伊達 卓二（公益財団法人 結核予防会）	Technical Assistance on "Dissemination of X-ray tool"	The Tuberculosis Coalition for Technical Assistance (TBCTA:結核技術支援連合):USAID（米国援助庁）、2008年10月～2009年9月
その他の活動		
II. 国際交流・国際協力		
氏 名	題 目	派遣機関、派遣年月
伊達 卓二	保健インフラマネジメントを通じた保健サービス強化プロジェクト詳細計画策定調査(ウガンダ)	国際協力機構（JICA）、2010年9月1日～10日
伊達 卓二	都市貧困地域の結核対策プロジェクト(フィリピン)	公益財団法人結核予防会、2010年11月21日～27日
伊達 卓二	保健医療サービスのための医療機材管理システム強化プロジェクト終了時調査(エリトリア)	国際協力機構（JICA）、2011年2月6日～16日
伊達 卓二	都市貧困地域の結核対策プロジェクト(フィリピン)	公益財団法人結核予防会、2011年8月22日～9月1日
伊達 卓二	Physical Assets Managementプロジェクト計画立案指導(マラウイ)	国際協力機構（JICA）、2011年9月10日～25日
伊達 卓二	Physical Assets Managementプロジェクト進捗確認と運営指導(マラウイ)	国際協力機構（JICA）、2012年3月5日～25日

研究業績

■堺 孝明

I. 発表論文

原著

氏名

題目

発表機関、発表年月

堺 孝明	機能分化した病院での経営戦略-大学病院の今後-パラダイムシフトに向けて-	保健医療経営大学紀要、 創刊号、 pp. 23～28、2009年1月
堺 孝明、丑山 優、萬代 望	療養病床の経営・診療費分析を通じて地域医療の方向性を探る事例研究	保健医療経営大学紀要、 第2号、 pp. 51～63、2010年3月
堺 孝明	科学研究費補助金研究成果報告書 データマイニングによる予防医学先行投資へのリスク予測と効率的医療資源配賦の検討	保健医療経営大学紀要、 第3号、 pp. 1～8、 2011年3月
萬代 望、堺 孝明、有吉 通泰	レセプトデータを用いた地理情報システムによるマーケティングの分析	第30回医療情報学連合大会論文集、 pp. 701～704、2010年11月
堺 孝明、丑山 優、萬代 望	療養病床の経営・診療費分析を通じて地域医療の方向性を探る事例研究	保健医療経営大学紀要 第2号、 pp. 51～64、 2010年3月
萬代 望、堺 孝明、有吉 通泰	レセプトデータを用いた地理情報システムによるマーケティングの分析 (査読あり)	第30回医療情報学連合大会論文集、 pp. 701～704、 2010年11月

II. 学術集会活動

学術集会での発表および講演

氏名

題目

発表機関、発表年月

Sakai T, Saku K	BENEFICIAL EFFECT IN HEART RATE VARIABILITY AND IGF-I IN HYPERCHOLESTEROLEMIC PATIENTS	The 77th Congress of the European Atherosclerosis Society, Turkey, 2008.04.26～29
堺 孝明、朔 啓二郎	動脈硬化性疾患の予測因子としてのCAVI，尿中微量アルブミンの検討	第40回 日本動脈硬化学会、 2008年7月、 つくば
堺 孝明、朔 啓二郎	本態性高血圧症の予測因子としての代謝性因子とCAVIによる動脈硬化のデータマイニングによる定量的検討-データマイニングによるNifedipineとCandesartanとの比較検討	第31回 日本高血圧学会、 2008年10月、 札幌
堺 孝明、谷島 智徳、石原 礼子、中村 康寛	インターベンションの差異分析による費用対効果の検討	第46回 日本医療・病院管理学会学術総会、 2008年11月、 静岡県静岡市
Sakai T, Nakamura Y	Beneficial effect in Heart Rate Variability and IGF-I after treatment with atorvastatin in hypercholesterolemic patients	第59回 聖マリア医学会研究会、 2009年2月、 久留米
萬代 望、堺 孝明、中村 康寛	保健医療経営についての高等学校の認識と保健医療経営人材の必要性に関する一考察	第59回 聖マリア医学会研究会、2009年2月、福岡県久留米市
Sakai T, Saku K	The additive effect of statin on the atherosclerotic change and autonomic function in hypercholesterolemic patients	The 15th International Symposium on Atherosclerosis、 Boston、 USA、 2009.06
Sakai T, Saku K	A value of CAVI, U-Alb and eGFR as Predictive Factors for the development of atherosclerosis	第41回 日本動脈硬化学会、 2009年7月、 下関
堺 孝明、朔 啓二郎	CAVI による動脈硬化性疾患の予測因子としてのLDL-C・HDL-Cの重要因子としての比較検討	第57回 日本心臓病学会、 2009年9月、 札幌
堺 孝明、朔 啓二郎	本態性高血圧症の予測因子としての代謝性因子とCAVIによる動脈硬化の定量的検討	第32回日本高血圧学会、 2009年10月、 大津
堺 孝明、朔 啓二郎	本態性高血圧症患者におけるシルニジピンの血中アディポネクチン上昇作用の検討	第32回日本高血圧学会、 2009年10月、 大津
Sakai T, Saku K, Ide K	The LDL to HDL cholesterol ratio as a valuable parameter to evaluate the development of CKD	The 59th American College of Cardiology Annual Scientific Session、 Atlanta、 USA、 2010.03
萬代 望、堺 孝明、有吉 通泰	レセプトデータを用いた地理情報システムによるマーケティングの分析	第30回医療情報学連合大会、 2010年11月、 静岡県浜松市
堺 孝明、朔 啓二郎	本態性高血圧症の予測因子としての代謝性因子とCAVIによる動脈硬化の定量的検討	第7回血管バイオメカニクス研究会、 2010年12月、 東京
赤松 誠彦、荒木 亜裕美、有馬 沙登美、島田 裕子、野口 瑛貴、堺 孝明	自治体病院の収益率低下の問題点およびマーケティングによる経営改善の検討 -ICD10およびDPCの検討-	第37回日本診療情報管理学会学術大会、 2011年8月、 福岡
Sakai T, Ide K	The LDL to HDL cholesterol ratio as a valuable parameter to evaluate the development of CKD	XVI International Symposium on Atherosclerosis, Sydney, Australia, 2012.03
Sakai T, Ide K	The evaluation of newer and conventional lipidemic parameters for the development of CKD - St. Mary's Healthcare Center prospective Open Cohort and retrospective Case Control study	The 80th European Atherosclerosis Society, Milan, Italy, 2012.05
萬代 望、堺 孝明	レセプトデータを用いた地理情報システムによるマーケティングの分析(一般演題)	第30回医療情報学連合大会、 2010年11月20日、 静岡県

III. 研究助成

文部科学省科学研究費

氏名

題目

助成機関、助成年月

堺 孝明	データマイニングによる予防医学先行投資へのリスク予測と効率的医療資源配賦の検討	基盤研究 (C)、 期間：平成19年度～平成20年度、研究経費(千円)：平成19年度；2,200、平成20年度；1,300
------	---	---

堺 孝明	予防医学の有無による費用対効果分析および医療費適正化の実証研究	基盤研究 (B)、期間：平成21年度～平成24年度、研究経費：1,418,0(千円)
その他の活動		
I. 社会貢献・地域交流		
公開講座		
氏 名	題 目	発表機関、発表年月
堺 孝明	生活習慣病について	保健医療経営大学 オープンキャンパス (講義)、2008年、みやま市
堺 孝明	医療と市場経済	医師会講演会、八女医師会、2008年10月、八女
堺 孝明	どうなる「日本の医療 (療養病床の今後のあり方)」	廣瀬輝夫氏講演会座長、2008年12月、福岡
堺 孝明	生活習慣病について	保健医療経営大学 オープンキャンパス (講義)、2009年、みやま市
堺 孝明	医療と市場経済-DPC導入に向けて	唐津赤十字病院講演会、2009年3月、唐津
堺 孝明	医療と市場経済-逆風は追い風になりうるか	福岡開業医の会 (一水会) 講演会、2009年5月、福岡
堺 孝明	筑後市立病院経営指標分析	筑後市立病院講演会、2009年8月、筑後
堺 孝明	医療最前線-しのびよる生活習慣病の実態	西日本シティ銀行講演会、2009年8月、福岡
堺 孝明	病院経営セミナー	病職員セミナー (講義)、2010年3月、福岡市
堺 孝明	病院経営セミナー	病職員セミナー (講義)、2010年3月、みやま市
堺 孝明	スウェーデンの高齢者福祉の現状	澤野正美氏講演会企画・司会、2010年5月、みやま市
堺 孝明	医療と市場経済	ノバルティス講演会、2008年12月、久留米
堺 孝明	医療と市場経済	武田薬品講演会、2009年1月、久留米
堺 孝明	自治体病院経営分析	九州大学大学院医学研究院、2009年1月、福岡県福岡市
堺 孝明	医療と市場経済-逆風は追い風になりうるか	シェリングプラウ講演会、2010年2月、久留米
堺 孝明	病院経営分析	九州大学大学院医学研究院、2010年1月、福岡県福岡市
堺 孝明	病院経営分析	九州大学大学院医学研究院、2011年1月、福岡県福岡市
堺 孝明	病院経営セミナー -マーケティングを睨んだ病院経営分析-	病職員セミナー (講義)、2011年2月、みやま市
堺 孝明	病院経営分析	九州大学大学院医学研究院、2012年2月、福岡県福岡市
堺 孝明	医療セミナー -マーケティングを睨んだ病院経営分析-	病職員セミナー (講義)、2012年2月、みやま市
学会の各種委員等		
氏 名	所 属 機 関	担当委員、担当年月
堺 孝明	日本動脈硬化学会	評議員
堺 孝明	科学研究費委員会	専門委員 (2011年度)
堺 孝明	財団法人福岡県すこやか健康事業団 生活習慣病専門部会	委員
堺 孝明	学術研究国際委員会	委員長 (2011年度)
堺 孝明	西日本シティ銀行との産学連携協力<保健医療経営大学>	担当者、2008年11月～現在に至る

研 究 業 績

■佐藤 哲三

I. 発表論文

原 著

氏 名	題 目	発表機関、発表年月
佐藤 哲三	<i>HaveIok the Dane</i> におけるALLの役割について	保健医療経営大学紀要 創刊号、pp. 151～179、2009年1月31日
佐藤 哲三	<i>HaveIok the Dane</i> における代名詞の研究 — 特に、I, YOU, SHE, THEYおよびALLに関して —	広島大学大学院社会科学研究科に学位取得申請論文として提出後、2009年3月5日に学位取得 [博士(学術)第4798号]

著 書

氏 名	題 目	発表機関、発表年月
佐藤 哲三(共著)	Let's Enjoy English (大学生のための総合英語)	南雲堂、企画・構成+全章(長文を除く全て)+全編集、2008年4月1日
佐藤 哲三(共著)	First Primer (基礎からの英語入門)	南雲堂、企画・構成+全編集、2009年11月30日
共著者：佐藤 哲三、佐藤 勇治、 荒巻 龍也、池田 賢治、毛利 史生、 小手川 巧光	Let's Enjoy the News in English (大学生の時事英語入門)	南雲堂、企画・構成+1章+全編集、2010年11月30日
共著者：佐藤 哲三、精松伸二、 小手川 巧光、福島孝夫、重久睦美、村上美穂、 新彰	First Primer (改訂新版)(基礎からの英語入門)	南雲堂、企画・構成+全編集、2012年1月30日
佐藤 哲三(共訳)	Social Diagnosis (社会診断)(Mary E. Richmond著)	あいり出版、監訳、2012年3月20日

II. 学術集会活動

学術集会での発表および講演

氏 名	題 目	発表機関、発表年月
佐藤 哲三	大会シンポジウム「多様化する英語学力と大学英語教育」	大学英語教育学会九州・沖縄支部、2010年7月、福岡市(西南学院大学)

その他の活動

I. 社会貢献・地域交流

公開講座

氏 名	題 目	発表機関、発表年月
佐藤 哲三	保健医療経営大学「英語公開講座」(週2日3講座(初級・中級・上級))	講師(2008年5月～2009年3月) *各講座とも全20回・1年間の通年講座
佐藤 哲三	保健医療経営大学「英語公開講座」(週4日5講座(初級・中級・上級・特級・土曜))	講師(2009年4月～2010年3月) *各講座とも全20回・1年間の通年講座
佐藤 哲三	保健医療経営大学「英語公開講座」(週4日5講座(初級・中級・上級・特級・土曜))	講師(2010年4月～2011年3月) *各講座とも全30回・1年間の通年講座
佐藤 哲三	保健医療経営大学「英語公開講座」(週3日5講座(初級・中級・上級・特級・土曜))	講師(2011年4月～2012年3月) *各講座とも全20回・1年間の通年講座
佐藤 哲三	保健医療経営大学「英語公開講座」(太宰府市会場) (週2日3講座(初級・中級・上級))	講師(2011年4月～2012年3月) *各講座とも全20回・1年間の通年講座

研究業績

■川島 秀樹

I. 発表論文

原 著

氏 名

題 目

発表機関、発表年月

川島 秀樹

マイクロシミュレーションの最適なシステム環境設定

保健医療経営大学紀要、第2号、pp. 1～7、2010年

高山 憲之、白石 浩介、川島 秀樹

日本版EITCの暫定試算

平成20年度国際共同研究「人口減少社会におけるマ
クロ経済展望」、内閣府経済社会総合研究所委託事
業、財団法人 関西社会経済研究所、pp. 153～
182、2009年3月

川島 秀樹

プログラミング (VB) 授業の一考察

平成22年度情報教育研究集会公演論文集、pp. 333～
336、2010年12月

川島 秀樹

プログラミング教育における構造化チャートの再評価

保健医療経営大学紀要、第3号、pp. 17～22、2011年
3月

川島 秀樹

デジタルプレゼンテーションにおける動画編集について

第1回全国大学ICT推進協議会・年次大会論文集、
pp. 144～149、2011年12月

川島 秀樹

デジタルプレゼンテーションにおける文書表現技法

保健医療経営大学紀要、第4号、pp. 9～18、2012年3
月

総 説

氏 名

題 目

発表機関、発表年月

川島 秀樹

動的マイクロシミュレーションの構築 — 個人・世帯のライフ
サイクルによる国民所得・年金分析と福祉需要分析— (博
士学位論文要旨)保健医療経営大学紀要、第1号、pp. 89～102、2009
年

学位論文

氏 名

題 目

発表機関、発表年月

川島 秀樹

動的マイクロシミュレーションの構築 — 個人・世帯のライ
フサイクルによる国民所得・年金分析と福祉需要分析 —九州大学、経済博甲第0119号、経済学研究
74 (5/6)、pp. 129 ～ 139、2008-04-30、
九州大学経済学会、Society of Political
Economy, Kyushu University
ISSN: 0022-975X
NII書誌ID (NCID): AN00070058

その他

氏 名

題 目

発表機関、発表年月

NPO長谷健顕彰会出版委員会(編集 川島秀樹
他)長谷健賞 こころにしみる「子どもの命」珠玉の作品集
(平成10年～19年)

特定非営利活動法人長谷健顕彰会、2010年3月31日

II. 学術集会活動

学術集会での発表および講演

氏 名

題 目

発表機関、発表年月

川島 秀樹

マイクロシミュレーションにおける最適なシステム環境の再検
討

第59回九州経済学会、2009年12月、北九州市。

川島 秀樹

プログラミング (VB) 授業の一考察

平成22年度情報教育研究集会、2010年12月、京都
市。

川島 秀樹

デジタルプレゼンテーションにおける動画編集について

平成23年度第1回全国大学ICT推進協議会、2011年12
月、福岡市。

川島 秀樹

「競争型教育システムと市場の安定化政策および経済成長」<
討論者>日本経済政策学会西日本部会第84回大会、2009年、
北九州市。

III. 研究助成

その他の省庁からの研究費

氏 名

題 目

助成機関、助成年月

川島 秀樹

内閣府国際共同研究「人口減少社会のマクロ経済展望」一橋大
学高山グループ内閣府経済社会総合研究所委託事業、財団法人 関
西社会経済研究所、pp. 153～182、2008年8月～2009
年3月

その他の活動		
国公立機関などの審議委員		
氏 名	所 属 機 関	担当委員、担当年月
川島 秀樹	内閣府国際共同研究	研究協力者、2008年9月～2009年3月
Ⅲ. その他		
氏 名	題 目	発表機関、発表年月
川島 秀樹	動的マイクロシミュレーション・プログラム開発 (Taxsim)	三菱総合研究所と共同著作権（知的財産権バイ・ドール契約）登録、2008年4月

研 究 業 績

■ 榑木 浩朗

II. 学術集会活動

学術集会での発表および講演

氏 名	題 目	発表機関、発表年月
榑木 浩朗	救急医療における 患者本人の意思表示能力と インフォームド コンセントの限界	第17回日本脳神経外科救急医学会、平成24年1月
榑木 浩朗	一般演題セッション座長	第76回 日本循環器学会学術総会、平成24年3月、 福岡

その他の活動

I. 社会貢献・地域交流

国公立機関などの審議委員

氏 名	所 属 機 関	担当委員、担当年月
榑木 浩朗	特定非営利活動法人治験ネットワーク福岡 中央治験審査委員	2010年10月より現在まで

学会の各種委員等

氏 名	所 属 機 関	担当委員、担当年月
榑木 浩朗	日本循環器学会学術集会 一般演題 査読委員	2008年より現在まで

研究業績

■林 勝裕

I. 発表論文

原 著

氏 名

題 目

発表機関、発表年月

林 勝裕	福岡県飯塚市の中心商店街における課題と展望	日本商業施設学会誌 第7回 研究発表論文集、pp. 29～34、2008年12月
林 勝裕	福岡県飯塚市の中心商店街が直面する問題点と対応策	保健医療経営大学紀要 創刊号、pp. 103～108、2009年1月
林 勝裕	都市の中心商店街における課題	九州産業大学大学院論文集 商学研究 第8巻第1号、pp. 17～35、2009年3月
林 勝裕	地方都市中心商店街の構造的課題	日本商業施設学会誌 第8回 研究発表論文集、pp. 60～65、2009年7月（学会賞対象:査読有）
林 勝裕	飯塚市中心市街地活性化における問題点と対応策 ー福岡県飯塚市の事例よりー	九州経済学会年報 第47集（査読有）、pp. 147～151、2009年12月
林 勝裕	九州新幹線全線開通に向けた福岡市の市場一極集中と百貨店の取り組み	日本商業施設学会誌 第9回 研究発表論文集、pp. 37～46、2010年8月（学会賞対象:査読有）
林 勝裕	医療サービスにおける患者満足に関する一考察 ー医療情報の非対称性を中心にー	日本商業施設学会誌 第10回 研究発表論文集、pp. 40～49、2011年10月

II. 学術集会活動

学術集会での発表および講演

氏 名

題 目

発表機関、発表年月

林 勝裕	福岡県飯塚市の中心商店街における課題と展望	第2回 研究会 日本商業施設学会 九州・沖縄支部、2008年6月、福岡市
林 勝裕	福岡県飯塚市の中心商店街における課題と展望	日本商業施設学会 第7回全国大会、2008年8月、東京都
林 勝裕	都市の中心商店街における問題点と対応策 ー福岡県飯塚市の事例よりー	九州経済学会 第58回大会、2008年12月、福岡市
林 勝裕	地方都市の中心市街地活性化における問題点と対応策	第4回 関西ベンチャー学会九州研究部会、2009年2月、福岡市
林 勝裕	商店街の構造的課題 ー福岡県飯塚市の事例よりー	第1回 研究会 日本商業施設学会 九州・沖縄支部、2009年7月、福岡市
林 勝裕	商店街の構造的課題 ー福岡県飯塚市の事例よりー	日本商業施設学会 第8回全国大会、2009年7月、東京都
林 勝裕	医療機関におけるマーケティング思考	第5回 関西ベンチャー学会九州研究部会、2009年8月、福岡市
林 勝裕	医療機関におけるサービス・マーケティングのあり方	第2回 研究会 日本商業施設学会 九州・沖縄支部、2009年10月、福岡市
林 勝裕	医療機関のマーケティングのあり方 ー民間医療機関を中心にー	研究会 日本商業学会九州部会、2009年11月、福岡市
林 勝裕	地方都市中心商店街の構造的課題とその周辺商業施設の動向 ー福岡県飯塚市の事例よりー	第6回 関西ベンチャー学会九州研究部会、2010年2月、福岡市
林 勝裕	福岡市商業施設の動向 ー九州新幹線全線開通を迎えてー	第1回 研究会 日本商業施設学会 九州・沖縄支部、2010年7月、福岡市
林 勝裕	九州新幹線全線開通に向けた福岡市の市場一極集中と百貨店の取り組み	日本商業施設学会 第9回全国大会、2010年8月、東京都
林 勝裕	九州新幹線開業に伴う福岡市商業の動向と商店街の活性化について	福岡商工会議所主催、2010年10月、福岡市
林 勝裕	福岡市の市場性と百貨店の取り組みについて	第8回関西ベンチャー学会九州研究部会、2011年2月、福岡市
林 勝裕	医療情報の非対称性と患者満足への取り組みに関する一考察	日本商業施設学会第10回全国大会、2011年8月、東京都
林 勝裕	医療機関における患者意識の顕在化とその対応策	第9回関西ベンチャー学会九州研究部会、2011年8月、福岡市
林 勝裕	医療機関の経営環境と患者満足への取組みに関する一考察	日本商業施設学会九州・沖縄部会研究会、2011年10月、福岡市
林 勝裕	有田焼陶磁器業界の動向について ーインタビュー調査（中間報告）ー	第10回関西ベンチャー学会九州研究部会、2012年2月、福岡市

学術賞		
氏名	題目	受賞機関、受賞年月
林 勝裕	日本商業施設学会より学会賞（優秀論文賞）受賞	日本商業施設学会、2011年8月、東京都
その他の活動		
I. 社会貢献・地域交流		
公開講座		
氏名	題目	発表機関、発表年月
林 勝裕	医療分野におけるマーケティングの仕方について	保健医療経営大学主宰「病院職員初心者セミナー」、2009年4月、福岡県みやま市
林 勝裕	九州新幹線開業に伴う福岡市商業の動向と商店街の活性化について（講師）	福岡商工会議所主催、2010年10月、福岡市
学会の各種委員等		
氏名	所属機関	担当委員、担当年月
林 勝裕	日本商業学会	日本商業学会九州部会事務局担当、2010年5月～現在に至る
林 勝裕	日本商業施設学会	日本商業施設学会九州・沖縄部会事務局長、2005年12月～現在に至る

研 究 業 績

■丹羽 崇之

I. 発表論文		
原 著		
氏 名	題 目	発表機関、発表年月
丹羽 崇之	研究ノート：村落共同墓地の法的性質	保健医療経営大学 紀要3号、2011年3月
丹羽 崇之	判例研究：早期胃癌の患者が胃切除手術を受けた後に、敗血症ショックによる多臓器不全のために死亡したことにつき、病院側の損害賠償責任が否定された事例（東京地方裁判所平成23	保健医療経営大学 紀要4号、2012年3月
総 説		
氏 名	題 目	発表機関、発表年月
丹羽 崇之	生殖医療と法	保健医療経営大学 紀要1号、2010年3月
その他の活動		
I. 社会貢献・地域交流		
公開講座		
氏 名	題 目	発表機関、発表年月
丹羽 崇之	最近の病院訴訟事例とその対応	病院新入職員セミナー、2009年4月25日、本学
丹羽 崇之	最近の医療訴訟の事例分析	病身職員セミナー アドバンストコース、2009年12月5日、福岡市
丹羽 崇之	最近の医療訴訟の事例分析	病身職員セミナー アドバンストコース、2009年12月12日、久留米市
国公立機関などの審議委員		
氏 名	所 属 機 関	担当委員、担当年月
丹羽 崇之	福岡県みやま市公正入札監視委員会委員長	2011年3月から現在に至る

研 究 業 績

■内田 和実

I. 発表論文		
原 著		
氏 名	題 目	発表機関、発表年月
萬代 望、柴田 実和子、内田 和実	保健医療経営分野における大学教育のあり方に関する一考察	保健医療経営大学紀要 第4号、pp. 45～48 2012年3月
総 説		
氏 名	題 目	発表機関、発表年月
内田 和実	ライフウェア社会の到来とヘルスツーリズムの可能性	保健医療経営大学紀要、第1号、pp. 113～117、2009年3月
その他の活動		
I. 社会貢献・地域交流		
国公立機関などの審議委員		
氏 名	所 属 機 関	担当委員、担当年月
内田 和実	みやま市都市計画マスタープラン策定委員会 副会長	2009年8月4日（第1回検討委員会）～2011年2月2日（第7回検討委員会）
内田 和実	みやま市の都市計画区域のあり方等検討委員会 委員	2011年12月22日（第1回策定委員会）～現在に至る
内田 和実	みやま市都市計画道路検討委員会 委員長	2011年10月4日（第1回策定委員会）～現在に至る
学会の各種委員等		
氏 名	所 属 機 関	担当委員、担当年月
内田 和実	日本計画行政学会 九州支部	会計監事（2007年度）～（現在）

研究業績

■泉 賢祐

I. 発表論文		
著書		
氏名	題目	発表機関、発表年月
編者：菊池 信子 新井 充春、村橋 功、水野 喜代 志、中野 い ずみ、三ツ石 行宏、阿部 正昭、坂倉 恵、見陣 史恵、岡崎 利治、泉 賢祐、高田さやか、浅海 奈津美、澁田 英敏、吉島 紀江、福田 明、大須 賀恵子、小野 隆、青柳 育子、石田 京子、廣橋 容子、浅岡 淳子、富田川 智志、篠崎 良勝、三 浦 美子、木野 美恵子、濱田 佐知子、日下 純 子、中川 千代、葛末 憲子、牛田 篤、李 相済、 檜木 八重子、赤羽 克子	『福祉実践をサポートする介護概論』，担当部分：「第4章第2 節 高齢者虐待防止法」(pp. 56～58)	保育出版社、2011年3月
総説		
氏名	題目	発表機関、発表年月
泉 賢祐	介護保険制度の推移について－現状と課題－	保健医療経営大学紀要 第1号、2009年1月
泉 賢祐	福岡県の社会福祉の課題について－全体的視点から－	保健医療経営大学紀要 第4号、2012年1月
II. 学術集会活動		
学術集会での発表および講演		
氏名	題目	発表機関、発表年月
泉 賢祐	学校におけるケアマネジメント技法活用の可能性についての 考察－ソーシャルワーカーによるケアマネジメントアプロ ーチ活用の取り組みより－	日本ケアマネジメント学会第8回研究大会 2009年6 月、横浜市
泉 賢祐	障害者の地域生活を支えるケアマネジメントについて－個人 の生活状況に把握から出発するアセスメント－	日本ケアマネジメント学会第10回研究大会 2011年 6月、東京都
泉 賢祐	介護保険法改正による看護と介護の連携について－制度的側 面からの考察－	日本社会医療学会第12回学術大会 2011年10月、延 岡市
その他の活動		
I. 社会貢献・地域交流		
国公立機関などの審議委員		
氏名	所属機関	担当委員、担当年月
泉 賢祐	福岡県共同募金会	評議員、2003年9月1日～現在に至る
泉 賢祐	福岡県障害者自立支援協議会	副委員長、2006年4月1日～現在に至る
泉 賢祐	福岡県運営適正化委員会	委員、2006年4月1日～現在に至る
泉 賢祐	福岡県介護保険広域連合地域密着型サービス運営委員会	委員、2009年4月1日～現在に至る
学会の各種委員等		
氏名	所属機関	担当委員、担当年月
泉 賢祐	社団法人日本社会福祉士会	理事、2006年4月～現在に至る (副会長、2011年4 月～現在に至る)
泉 賢祐	社団法人福岡県社会福祉士会	会長、2003年5月～現在に至る
泉 賢祐	社会福祉法人慈久福祉会	理事・評議員、2009年7月～現在に至る

研究業績

■白木 秀典

I. 発表論文

総説

氏名	題目	発表機関、発表年月
白木 秀典	「地域住民からの資金調達と医療経営」－「法人債についての一考察」	保健医療経営大学紀要 第4号、pp. 27～34、2012年3月

その他

氏名	題目	発表機関、発表年月
白木 秀典	クリニックでの専門外来増設の試み	第12回日本医業経営コンサルタント学会講演集、pp. 98～103、2008年10月
白木 秀典、松岡 宏正	医療材料メーカーの営業戦略の特色と医療機関の購買行動	第14回日本医業経営コンサルタント学会講演集、pp. 108～112、2010年10月
松岡 宏正、白木 秀典、折笠 勉	医業介護複合体 － 都市型中小病院での競争力の源泉とその経営メカニズム	第15回日本医業経営コンサルタント学会講演集、pp. 122～127、2011年10月

II. 学術集会活動

学術集会での発表および講演

氏名	題目	発表機関、発表年月
白木 秀典	クリニックでの専門外来増設のころみ	第12回日本医業経営コンサルタント学会、2008年6月、横浜市
松岡 宏正、白木 秀典、内藤 聡、栗原 誠他	中小病院の経営戦略(1) － 地域中小病院経営モデルとしての医療・介護の複合体	第12回日本医業経営コンサルタント学会、2008年6月、横浜市
横田 等悟、白木 秀典、内藤 聡、栗原 誠他	中小病院の経営戦略(2) － 在宅療養支援診療所と高齢者施設との連携	第12回日本医業経営コンサルタント学会、2008年6月、横浜市
吉崎 隆、白木 秀典、内藤 聡、栗原 誠他	地域中小病院における緩和ケア病棟	第13回日本医業経営コンサルタント学会、2009年6月、金沢市
白木 秀典、松岡 宏正	医療材料メーカーの営業戦略の特色と医療機関の購買行動	第14回日本医業経営コンサルタント学会、2010年6月、神戸市
秋田 耕二郎、白木 秀典、内藤 聡他	在宅療養診療所の機能と経営分析	第14回日本医業経営コンサルタント学会、2010年6月、神戸市
折笠 勉、白木 秀典、内藤 聡他	中小病院における外来がん化学療法の経営	第14回日本医業経営コンサルタント学会、2010年6月、神戸市
松岡 宏正、白木 秀典、折笠 勉	医業介護複合体 － 都市型中小病院での競争力の源泉とその経営メカニズム	第15回日本医業経営コンサルタント学会、2011年6月、東京都
杉山 正徳、白木 秀典、内藤 聡他	東京都内小児科診療所の事例考察	第15回日本医業経営コンサルタント学会、2011年6月、東京都
蛸原 裕人、村田 幸一、白木 秀典他	中小病院における『連携』	第15回日本医業経営コンサルタント学会、2011年6月、東京都

III. 研究助成

民間からの助成

氏名	題目	発表機関、発表年月
白木 秀典	中小病院の経営	社団法人日本医業経営コンサルタント協会、東京都支部、2008年度～2010年度
白木 秀典	診療所の経営	社団法人日本医業経営コンサルタント協会東京都支部、2010年度～2012年度

その他の活動

I. 社会貢献・地域交流

公開講座

氏名	題目	発表機関、発表年月
白木 秀典	ケースで考える病院の経営分析	保健医療経営大学医療セミナー、第一期、2011年12月、みやま市
白木 秀典	医療型金融円滑化は果たして可能か？	九州医療・病院管理研究会サマーセミナー、2011年8月、福岡市、コーディネーター

学会の各種委員等		
氏名	所属機関	担当委員、担当年月
白木 秀典	第15回日本医業経営コンサルタント学会、2011年6月、東京都	一般演題審査委員
白木 秀典	社団法人日本医業経営コンサルタント協会東京都支部	理事 2007年4月～ 現在に至る
白木 秀典	社団法人日本医業経営コンサルタント協会東京都支部、第二研究会	代表幹事 2008年4月～ 2010年6月
白木 秀典	社団法人日本医業経営コンサルタント協会東京都支部、第一研究会	代表幹事 2010年4月～ 現在に至る

研 究 業 績

■山崎 敦俊

I. 発表論文

原 著

氏 名	題 目	発表機関、発表年月
山崎 敦俊	英国の地方公共団体における会計および行政評価に関する研究	作新経営論集、第18号、pp.175～189、2009年3月
山崎 敦俊	公会計原則構築に関する研究視座	作新経営論集、第19号、pp.111～128、2010年3月
山崎 敦俊	行政評価とアカウンタビリティに資する公会計 ～地方公共団体の会計システム構築に関する研究視座～	作大論集、第1号、pp.173～192、2011年3月
山崎 敦俊	地方公共団体における会計システム構築に関する研究 –新地方公会計モデルにおける資産の貸借対照表能力について–	保健医療経営大学紀要、第4号、2012年3月

学位論文

氏 名	題 目	発表機関、発表年月
山崎 敦俊	行政評価とアカウンタビリティに資する公会計 ～地方公共団体の会計システム構築に関する研究視座～	作新学院大学大学院経営学研究科、博士（経営学）、乙第5号、2010年3月 作大論集、pp.173～192、ISSN:2185～7415、2011年3月

II. 学術集会活動

学術集会での発表および講演

氏 名	題 目	発表機関、発表年月
山崎 敦俊	行政評価とアカウンタビリティに資する公会計 ～地方公共団体の会計システム構築に関する研究視座～	作新学院大学大学院経営学研究科、博士学位公聴会、2010年2月、栃木県、宇都宮市

その他の活動

I. 社会貢献・地域交流

公開講座

氏 名	題 目	発表機関、発表年月
山崎 敦俊	変革する自治体会計の仕組み	保健医療経営大学、医療セミナー 2nd、2012年2月9日、みやま市

国公立機関などの審議委員

氏 名	所属機関	担当委員、担当年月
山崎 敦俊	筑後市 観光戦略企画委員会<筑後市役所より委嘱>	委員、2011年8月～現在に至る
山崎 敦俊	みやま市 政治倫理審査委員会<みやま市役所より委嘱>	委員、2011年10月～現在に至る

研 究 業 績

■ 萬代 望

I. 発表論文

原 著

氏 名

題 目

発表機関、発表年月

萬代 望	世界における医療情報システムの動向と一考察（査読あり）	第29回医療情報学連合大会論文集、 pp. 1188～1189、 2009年11月
萬代 望	保健医療経営分野に関する高等学校の意識についての分析的研究	保健医療経営大学紀要 第2号、 pp. 23～25、 2010年3月
堺 孝明、丑山 優、萬代 望	療養病床の経営・診療費分析を通じて地域医療の方向性を探る事例研究	保健医療経営大学紀要 第2号、 pp. 51～63、 2010年3月
萬代 望、堺 孝明、有吉 通泰	レセプトデータを用いた地理情報システムによるマーケティングの分析（査読あり）	第30回医療情報学連合大会論文集、 pp. 701～704、 2010年11月
萬代 望	自治体病院の税制に関する事例研究	保健医療経営大学紀要 第3号、 pp. 39～42、 2011年3月
萬代 望	地方独立行政法人化にむけて経営上のポイントと今後のあり方	保健医療経営大学紀要 第3号、 pp. 31～39、 2011年3月
萬代 望、伊達 卓二	胸部X線写真の画質向上を目的とした支援システムの開発－フィリピンにおける結核対策の事例－（査読あり）	第31回医療情報学連合大会論文集、 pp. 272～275、 2011年11月
萬代 望、柴田 実和子、内田 和実	保健医療経営分野における大学教育のあり方に関する一考察	保健医療経営大学紀要 第4号、 pp. 45～48、 2012年3月

総 説

氏 名

題 目

発表機関、発表年月

萬代 望	医療情報経営に携わる人材の育成について	保健医療経営大学紀要 創刊号、 pp. 55～61、 2009年2月
------	---------------------	------------------------------------

その他

氏 名

題 目

発表機関、発表年月

萬代 望、川島 秀樹、大曲五男	情報システム利用の手引	保健医療経営大学情報メディアセンター pp. 1～51、 2008年4月
石内 孔治、植田 清一郎、馬田 裕二、松本 啓輔、萬代 望、平 親善	筑後市立病院の経営形態に関する答申書	筑後市立病院経営形態検討委員会 pp. 1～13、 2009年3月
萬代 望	HIMSS AsiaPac09 視察報告書	日本医療情報学会 pp. 1～9、 2009年4月

II. 学術集会活動

学術集会での発表および講演

氏 名

題 目

発表機関、発表年月

萬代 望、堺 孝明、中村 康寛	保健医療経営についての高等学校の認識と保健医療経営人材の必要性に関する一考察（一般演題）	第59回 聖マリア医学研究会、 2009年2月1日、 福岡県留米市
萬代 望	世界における医療情報システムの動向と一考察（ポスター）	第29回医療情報学連合大会、 2009年11月20日、 広島県広島市
萬代 望、堺 孝明、有吉 通泰	レセプトデータを用いた地理情報システムによるマーケティングの分析	第30回医療情報学連合大会、 2010年11月20日、 静岡県浜松市
萬代 望、柴田実和子	保健医療経営分野における大学教育のあり方に関する一考察（一般演題）	第37回診療情報管理学会学術大会、 2011年9月30日、 福岡県福岡市
萬代 望、伊達 卓二	胸部X線写真の画質向上を目的とした支援システムの開発－フィリピンにおける結核対策の事例－（一般演題）	第31回医療情報学連合大会、 2011年11月21日、 鹿児島県鹿児島市

その他の活動

I. 社会貢献・地域交流

公開講座

氏 名

題 目

発表機関、発表年月

萬代 望	情報と現代社会	明光学園2011年度生涯学習公開講座、 2011年7月、 福岡県大牟田市
------	---------	--------------------------------------

国公立機関などの審議委員

氏 名

所 属 機 関

担当委員、担当年月

萬代 望	筑後市立病院経営形態検討委員会<筑後市役所より委嘱>	委員、 2008年11月～2009年3月
萬代 望	西日本シティ銀行との産学連携協力<保健医療経営大学>	担当者、 2008年11月～現在に至る
萬代 望	筑後市情報公開審査会委員<筑後市役所より委嘱>	委員、 2010年10月～現在に至る
萬代 望	筑後市立病院情報公開審査会委員<筑後市立病院より委嘱>	委員、 2011年11月～現在に至る

Ⅲ. その他		
氏名	題目	発表機関、発表年月
萬代 望	自治体病院経営分析	九州大学大学院医学研究院、2009年1月、福岡県福岡市
萬代 望	日本の医療がかかえる問題	杵築高校、2009年7月、大分県杵築市
萬代 望	医療における経営情報を担う人材の必要性	新潟経営大学経営情報学部、2009年7月、新潟県加茂市
萬代 望	独立行政法人化にむけて経営上のポイントと今後のあり方	筑後市役所、2009年8月、福岡県筑後市
萬代 望	医療情報システムの現状課題とその解決	大阪市立大学大学院創造都市研究科、2009年10月、大阪府大阪市
萬代 望	病院経営分析	九州大学大学院医学研究院、2010年1月、福岡県福岡市
萬代 望	医療におけるシステムソリューション	大阪市立大学大学院創造都市研究科2010年4月、大阪府大阪市
萬代 望	世界の医療の現状と日本の課題	福岡女学院大学人文学部、2010年7月9日、福岡県福岡市
萬代 望	病院経営分析	九州大学大学院医学研究院、2011年1月、福岡県福岡市
萬代 望	世界の医療の現状と日本の課題	福岡女学院大学人文学部、2011年7月、福岡県福岡市

研 究 業 績

■野崎 竜太郎

I. 発表論文		
原 著		
氏 名	題 目	発表機関、発表年月
野崎 竜太郎	ライツプランによる買収防衛とステークホルダーの行動	九州経済学会年報第49集、2011年12月、pp. 129～134
総 説		
氏 名	題 目	発表機関、発表年月
野崎 竜太郎	企業買収に対する経済学的視点の紹介	保健医療経営大学紀要 創刊号、2009年1月 pp. 119～121
II. 学術集会活動		
学術集会での発表および講演		
氏 名	題 目	発表機関、発表年月
野崎 竜太郎	企業買収におけるステークホルダーの役割	日本応用経済学会秋季大会、2010年11月、群馬県
野崎 竜太郎	ライツプランによる買収防衛とステークホルダーの行動	九州経済学会第60回例会、2010年12月、福岡県
その他の活動		
I. 社会貢献・地域交流		
学会の各種委員等		
氏 名	所 属 機 関	担当委員、担当年月
野崎 竜太郎	日本応用経済学会	総務委員（事務局幹事）2009年～現在に至る

研 究 業 績

■谷島 智徳

I. 発表論文

総 説

氏 名	題 目	発表機関、発表年月
谷島 智徳	民間病院業界2008	保健医療経営大学 紀要 創刊号、2009年1月
谷島 智徳	経営思想	保健医療経営大学 紀要 第3号、2011年3月
谷島 智徳	我が国における後発医薬品企業の5Forcesによる業界構造分析	保健医療経営大学 紀要 第4号、2012年3月

II. 学術集会活動

学術集会での発表および講演

氏 名	題 目	発表機関、発表年月
堺 孝明、谷島 智徳、石原 礼子、中村 康寛	インターベンションの差異分析による費用効果の検討	第46回 日本医療・病院管理学会学術総会、2008年11月、静岡県静岡市
ミゲル エステベス、神原 公一、谷島 智徳	現代日本にみる医療経営手法の課題	第8回 日本医療経営学会学術総会、2009年10月、宮城県仙台市

その他の活動

I. 社会貢献・地域交流

公開講座

氏 名	題 目	発表機関、発表年月
谷島 智徳	病院職員が知っておきたいリスク管理	保健医療経営大学 病院職員セミナー（初心者コース） 2009年4月25日

学会の各種委員等

氏 名	所 属 機 関	担当委員、担当年月
谷島 智徳	日本医療経営学会	評議員 2008年6月から現在に至る

研 究 業 績

■石原 礼子

I. 発表論文		
原 著		
氏 名	題 目	発表機関、発表年月
Reiko Ishihara, Chihoko Kame, Akira Babazono	Relationship between the change in mental health and indicators of medical costs in the prevention of lifestyle-related disease	Dis Manage Health Outcomes 2008、第16巻・5号、pp. 439～447、2008年12月
Akira Babazono, Kazuaki Kuwabara, Akihito Hagiwara, Jun Nagano, <u>Reiko Ishihara</u>	Do Interventions to Prevent Lifestyle-Related Diseases Reduce Healthcare Expenditures? A Randomized Controlled Clinical Trial	J Epidemiol 2011、第21巻・1号、pp.75～80、2010年12月
石原 礼子	レセプト情報を用いた医療費分析における「傷病名」の活用	保健医療経営大学紀要、第1号、pp. 47～49、2009年1月
その他		
氏 名	題 目	発表機関、発表年月
清田 勝彦、 <u>石原 礼子</u>	みやま市民の保健・医療に関する調査研究	保健医療経営大学、2012年3月
II. 学術集会活動		
学術集会での発表および講演		
氏 名	題 目	発表機関、発表年月
堺 孝明、谷島 智徳、 <u>石原 礼子</u> 、中村 康寛	インターベンションの差異分析による費用効果の検討	第46回 日本医療・病院管理学会学術総会、2008年11月、静岡県静岡市
<u>石原 礼子</u> 、馬場園 明	メンタルヘルスと医療費の関連における医療費分析の手法	第67回日本公衆衛生学会 第11回レセプト情報の活用を考える自由集会、2008年11月、福岡市
石原 一成、 <u>石原 礼子</u> 、中村 和彦	福岡県O市の高齢者健康づくり支援事業「さきがけ教室」の介護予防効果	第67回日本公衆衛生学会、2008年11月、福岡市
<u>石原 礼子</u> 、馬場園 明	メンタルヘルスと医療費の指標との関連に関する研究	第10回日本健康支援学会、2009年2月、福岡市
<u>石原 礼子</u> 、馬場園 明、飯西 美咲	特定健診・保健指導によって生活習慣病を25%減少させることが可能か？	第68回日本公衆衛生学会、2009年10月、奈良市
石原 一成、柳田 昌彦、 <u>石原 礼子</u>	福井県なぜか健康長寿を考えるー健康度自己評価・身体活動状況に関連する要因の検討ー	第68回日本公衆衛生学会、2009年10月、奈良市
<u>石原 礼子</u> 、馬場園 明、飯西 美咲	特定健診における受診勧奨判定基準の検討	第11回日本健康支援学会、2010年3月、東京都
K. Ishihara, M. Yanagita, T. Ueda, <u>R. Ishihara</u>	Development a new physical performance test battery assessing functional fitness in community-dwelling older Japanese women	57th Annual Meeting of the American College of Sports Medicine、2010年6月、アメリカ ポルチモア
Kazunari Ishihara, Masahiko Yanagita, Takeshi Ueda, <u>Reiko Ishihara</u>	Validity of Equation to Estimate the Physical Fitness Age in Community-Dwelling Older Japanese Women	58th Annual Meeting of the American College of Sports Medicine、2011年6月、アメリカ、コロラド
<u>石原 礼子</u> 、馬場園 明	特定健診の受診状況が医療費に与える影響の縦断的研究	第13回日本健康支援学会、2012年2月、つくば市
III. 研究助成		
文部科学省科学研究費		
氏 名	題 目	助成機関、助成年月
石原 礼子	特定健診の受診状況が生活習慣病にかかる医療費に与える影響の縦断的研究	若手研究B (21790512)、期間：平成21年度～平成24年度、助成金額2,600 (千円)
その他の活動		
I. 社会貢献・地域交流		
公開講座		
氏 名	題 目	発表機関、発表年月
石原 礼子	メンタルヘルスが悪い人は病院に行きたがる？	女性大学みやま 第2回講座、2008年7月、みやま市
石原 礼子	保険診療の仕組み	病院職員初心者セミナー、2009年4月、福岡県みやま市
石原 礼子	医療に関するお仕事	高校内ガイダンス「職業理解のための説明会」、2009年10月、福岡県大牟田市

研 究 業 績

■藤原 大樹

I. 発表論文

原 著

氏 名	題 目	発表機関、発表年月
内田 若希、橋本 公雄、山崎 将幸、永尾 雄一、藤原 大樹	自己概念の多面的階層モデルの検討と運動・スポーツによる自己変容 - 中途身体障害者を対象として - (査読あり)	スポーツ心理学研究、35(1)、pp. 1～16、2008
山添 健陽、橋本 公雄、鋤崎 澄夫、山崎 将幸、藤原 大樹、阿南 裕也	子どもの身体活動測定法としての主観的な身体活動時間報告の妥当性の検討	九州大学健康科学センター紀要健康科学、31、pp. 87～92、2009
堀田 亮、藤原 大樹、橋本 公雄	高齢者の認知機能は日常生活での活動と関連するのか？ (査読あり)	スポーツ心理学研究、38(1)、pp. 1～11、2011
藤原 大樹、山崎 先也、徳永 幹雄	「生活習慣病予防スポーツ」授業における生活習慣及び心理的健康指標の分析	福岡医療福祉大学紀要、8、pp. 33～41、2011

著 書

氏 名	題 目	発表機関、発表年月
監修：日本体育協会 編者：竹中 晃二 共著者：竹中 晃二、橋本 公雄、大矢 幸弘、田中 茂穂、石井 好二郎、上地 広昭、藤原 大樹 他	『アクティブ・チャイルド 60min.-子どもの身体活動ガイドライン-』担当部分：「第6章 活動レベルを高める動機づけ 具体的介入方法 Topic11 小学校の環境づくり」(p.168)	株式会社サンライフ企画、2010年4月

その他

氏 名	題 目	発表機関、発表年月
橋本 公雄、山添 健陽、藤原 大樹、鋤崎 澄夫	子どもの身体活動量とメンタルヘルスの関係	平成19年度日本体育協会スポーツ医・科学研究報告Ⅱ-第2報-、pp. 36～41、2008年3月
橋本 公雄、山添 健陽、藤原 大樹、鋤崎 澄夫	子どもの身体活動量とメンタルヘルスの関係-行動目標値の策定を目指して-	平成20年度日本体育協会スポーツ医・科学研究報告Ⅰ-第3報-、pp. 61～69、2009年3月

II. 学術集会活動

学術集会での発表および講演

氏 名	題 目	発表機関、発表年月
Hiroki Fujiwara	ポスター: Perceptions of physical and social environment at school influence youth physical activity during recess	AASP 23rd Annual Conference, 2008年9月, St.Louis, Missouri
藤原 大樹	小学校環境と昼休みの身体活動の関連について	日本体育学会第60回大会、2009年8月、東広島市
藤原 大樹	事例検討会(事例発表)：高校女子バレーボール部に対する心理的サポートについて	日本メンタルトレーニングフォーラム第4回大会、2010年3月、春日市
藤原 大樹	ポスター：ウォーキング環境認知とTTM変容ステージの関係について	第56回九州体育・スポーツ学会、2008年9月、久留米市
藤原 大樹	学会フォーラム(演者)：地域におけるウォーキングを用いた健康づくりの取り組み-如何にして継続させるか-	九州スポーツ心理学会第22回、2009年3月、北九州市
藤原 大樹	ポスター発表：環境認知、自己効力感とウォーキング行動の関連	第58回九州体育・スポーツ学会、2009年9月、熊本市
藤原 大樹	研究推進委員会企画セッション(演者)：小学校環境を用いた子どもの身体活動促進のための介入プログラムの開発と実践	第59回九州体育・スポーツ学会、2010年8月、鹿児島市
藤原 大樹	「生活習慣病予防スポーツ」授業における生活習慣及び心理的健康指標について	平成22年度九州地区大学体育連合「体育・スポーツ・健康に関する教育研究会議」2011年3月、熊本市
藤原 大樹	フリーグループディスカッション(モデレーター)：学校体育に資する運動・スポーツ心理学-現場への適用と実践-	九州スポーツ心理学会第25回、2012年3月、春日市
藤原 大樹	学校環境と昼休みの身体活動の関連について	上益城郡体育授業研究会、2009年1月、熊本県上益城郡
藤原 大樹	昼休み時間の身体活動増強のための介入	上益城郡体育授業研究会 2010年1月、熊本県上益城郡

Ⅲ. 研究助成		
その他の助成		
氏名	題目	助成機関、助成年月
藤原 大樹	【課題研究助成】：小学校環境を用いた子どもの身体活動推進のための介入プログラムの開発と実践	九州体育・スポーツ学会、2009
その他の活動		
Ⅰ. 社会貢献・地域交流		
公開講座		
氏名	題目	発表機関、発表年月
藤原 大樹	生活習慣としての運動	筑紫野市健康づくり推進協議会 なかなかよか健康チャレンジ・ウォーキング事業第2回健康講座、2011年6月、福岡県筑紫野市
学会の各種委員等		
氏名	所属機関	担当委員、担当年月
藤原 大樹	九州スポーツ心理学会	庶務担当理事及び事務局スタッフ（編集）、2009年3月～2011年3月
Ⅲ. その他		
氏名	所属機関	担当委員、担当年月
藤原 大樹	スポーツクラブみやま	事務局及び指導者、2010年9月～現在に至る

研 究 業 績

■柴田 実和子

I. 発表論文

原 著		
氏 名	題 目	発表機関、発表年月
萬代 望、柴田 実和子、内田 和実	保健医療経営分野における大学教育のあり方に関する一考察	保健医療経営大学紀要 第4号、pp. 45～48 2012年3月

II. 学術集会活動

学術集会での発表および講演

氏 名	題 目	発表機関、発表年月
柴田 実和子、阿南 誠、秋岡 美登恵、倉掛 里恵、皆元 麻里加、堀上 美由紀	一般公演：特定共同指導における指摘事項の改善にむけて、診療情報管理士としてどのように取り組むのか（第一報）	第34回日本診療情報学会学術大会、2008年8月、東京都
秋岡 美登恵、阿南 誠、柴田 実和子、井上 亜紀	一般公演：オーダーリング病名を使用したがん登録システムの検証	第34回日本診療情報学会学術大会、2008年8月、東京都
阿南 誠、柴田 実和子、秋岡 美登恵、倉掛 里恵、堀上 美由紀、井上 亜紀、皆元 麻里加、	一般公演：当院における診療記録開示の現状と開示理由の変遷	第34回日本診療情報学会学術大会、2008年8月、東京都
阿南 誠、桑原 一彰、久富 洋子、秋岡 美登恵、柴田 実和子	一般公演：DPC導入に伴うICDコーディングの問題点について：第6報、DPC基礎調査における「.9」出現の要因分析	第34回日本診療情報学会学術大会、2008年8月、東京都
柴田 実和子、阿南 誠、秋岡 美登恵、倉掛 里恵、皆元 麻里加、堀上 美由紀、福島 祥子	一般公演：病院機能評価受審における診療情報管理士の役割	第35回日本診療情報学会学術大会、2009年9月、静岡県浜松市
秋岡 美登恵、阿南 誠、柴田 実和子、田中 明実、安永 里恵、福島 祥子、堀上 美由紀、皆元 麻里加	一般公演：2008年分院内がん登録データの分析	第35回日本診療情報学会学術大会、2009年9月、静岡県浜松市
阿南 誠、久富 洋子、桑原 一彰、秋岡 美登恵、柴田 実和子、皆元 麻里加、福島 祥子、倉掛 里恵、堀上 美由紀	一般公演：DPC導入に伴うICDコーディングの問題点：第7報、DPC基礎調査における「.9」出現率の推移と診療情報管理士の存在	第35回日本診療情報学会学術大会、2009年9月、静岡県浜松市
阿南 誠、久富 洋子、秋岡 美登恵、柴田 実和子	一般公演：DPC導入に伴うICDコーディングの問題点：第8報、「.8」「.9」コードから見るデータの質評価	第36回日本診療情報学会学術大会、2010年9月、長野県長野市
柴田 実和子	座長：学生シンポジウム「未来の診療情報管理士像：IT化時代に診療情報管理士は何を担うか」	第37回日本診療情報学会学術大会、2011年9月、福岡県福岡市
萬代 望、柴田 実和子	一般公演：保健医療経営分野における大学教育のあり方に関する一考察	第37回日本診療情報学会学術大会、2011年9月、福岡県福岡市
柴田 実和子	シンポジウム：「診療情報管理士はどのような情報を提供できるか」	第44回診療情報管理士生涯教育研修会、2009年12月、大分県別府市
柴田 実和子	シンポジウム：サテライトセミナーB・記録の質を担保するための実践	日本診療情報管理士会第22年度全国研修会・総会、2010年7月、福岡県春日市
柴田 実和子	講演：「病院機能評価における診療情報管理士の役割」一過去、3度の受審における経験とその傾向と対策	第39回診療録管理研究研修会、2009年3月、福岡県福岡市
柴田 実和子	シンポジウム：「診療情報管理士として何が求められているのか」診療記録の監査	平成21年度第1回九州沖縄地区研修会、2009年7月、福岡県福岡市

III. 研究助成

その他の省庁からの研究費

氏 名	題 目	助成機関、助成年月
山本 修三、大井 利夫、川合 省三、島津 邦男、西本 寛、藤原 研司、三木 幸一郎、柴田 実和子、他	我が国の統計における死因及び傷病構造の把握精度の向上を図るための具体的な方策についての研究	厚生労働科学研究費補助金政策科学総合研究事業統計情報総合研究事業、平成19年度～平成20年度
大井 利夫、川合 省三、菅野 健太郎、高橋 長裕、西本 寛、松本 万夫、三木 幸一郎、柴田 実和子、他	死因統計の精度向上にかかる国際疾病分類に基づく死亡診断書の記載適正化に関する研究	厚生労働科学研究費補助金政策科学総合研究事業統計情報総合研究事業、平成21年度～平成22年度

その他の活動

I. 社会貢献・地域交流

国公立機関などの審議委員

氏 名	所 属 機 関	担当委員、担当年月
柴田 実和子	福津市情報公開・個人情報保護審議会委員	依頼先：福津市長 2011年6月～2012年3月に至る

柴田 実和子	みやま市情報公開・個人情報保護審議会委員	依頼先：みやま市長 2011年10月～2012年3月に至る
学会の各種委員等		
氏 名	所 属 機 関	担当委員、担当年月
柴田 実和子	日本診療情報管理士会	評議員（所属支部：九州沖縄）、2011年7月23日～2014年3月31日
Ⅲ. その他		
氏 名	題 目	発表機関、発表年月
柴田 実和子	社会法人日本病院会通信教育課主催、診療情報管理士通信教育勉強会（コーディング演習）講師	福岡市 2008年6月14日
柴田 実和子	社会法人日本病院会通信教育課主催、診療情報管理士通信教育勉強会（コーディング演習）講師	福岡市 2008年8月30日
柴田 実和子	社会法人日本病院会通信教育課主催、診療情報管理士通信教育勉強会（コーディング演習）講師	福岡市 2008年10月18日
柴田 実和子	社会法人日本病院会通信教育課主催、診療情報管理士通信教育勉強会（コーディング演習）講師	福岡市 2008年11月16日
柴田 実和子	社会法人日本病院会通信教育課主催、診療情報管理士通信教育勉強会（コーディング演習）講師	福岡市 2008年12月20日
柴田 実和子	社会法人日本病院会通信教育課主催、診療情報管理士通信教育勉強会（コーディング演習）講師	福岡市 2009年1月31日
柴田 実和子	社会法人日本病院会通信教育課主催、診療情報管理士通信教育勉強会（コーディング演習）講師	福岡市 2009年5月30日
柴田 実和子	社会法人日本病院会通信教育課主催、診療情報管理士通信教育勉強会（コーディング演習）講師	福岡市 2009年7月25日
柴田 実和子	社会法人日本病院会通信教育課主催、診療情報管理士通信教育勉強会（コーディング演習）講師	福岡市 2009年9月26日
柴田 実和子	社会法人日本病院会通信教育課主催、診療情報管理士通信教育勉強会（コーディング演習）講師	福岡市 2009年10月18日
柴田 実和子	社会法人日本病院会通信教育課主催、診療情報管理士通信教育勉強会（コーディング演習）講師	福岡市 2009年12月12日
柴田 実和子	社会法人日本病院会通信教育課主催、診療情報管理士通信教育勉強会（コーディング演習）講師	福岡市 2010年4月25日
柴田 実和子	社会法人日本病院会通信教育課主催、診療情報管理士通信教育勉強会（コーディング演習）講師	福岡市 2010年6月12日
柴田 実和子	社会法人日本病院会通信教育課主催、診療情報管理士通信教育勉強会（コーディング演習）講師	福岡市 2010年9月11日
柴田 実和子	社会法人日本病院会通信教育課主催、診療情報管理士通信教育勉強会（コーディング演習）講師	福岡市 2010年12月4日
柴田 実和子	社会法人日本病院会通信教育課主催、診療情報管理士通信教育勉強会（コーディング演習）講師	福岡市 2011年5月22日
柴田 実和子	社会法人日本病院会通信教育課主催、診療情報管理士通信教育勉強会（コーディング演習）講師	福岡市 2011年7月9日
柴田 実和子	社会法人日本病院会通信教育課主催、診療情報管理士通信教育勉強会（コーディング演習）講師	福岡市 2011年8月20日
柴田 実和子	社会法人日本病院会通信教育課主催、診療情報管理士通信教育勉強会（コーディング演習）講師	福岡市 2011年12月17日

研究業績

■小手川 巧光

I. 発表論文		
原 著		
氏 名	題 目	発表機関、発表年月
小手川 巧光	修士論文：The Tears of Digory: A Study on C. S. Lewis's Uses of Suffering in <i>the Chronicles of Narnia</i>	久留米大学、2011年2月
著 書		
氏 名	題 目	発表機関、発表年月
共著者：佐藤 哲三、精松伸二、 小手川 巧光、福島孝夫、重久睦美、村上美穂、新彰	First Primer 基礎からの英語入門	株式会社 南雲堂・2010年2月
共著者：佐藤 哲三、佐藤 勇治、 荒巻 龍也、池田 賢治、毛利 史生、 小手川 巧光	Let's Enjoy the News English 大学生の時事英語入門	株式会社 南雲堂・2010年11月
総 説		
氏 名	題 目	発表機関、発表年月
小手川 巧光	The Shift of C. S. Lewis's Writing Perspective in His Later Life: The Orientation of the Subject Matter	保健医療経営大学紀要 創刊号、pp. 181～183、 2009年3月
小手川 巧光	An Inference about the Influence of Christianity on Lawrence's Earlier Poems	保健医療経営大学紀要 第2号、pp. 15～21、2010年 3月
小手川 巧光	書評 五木寛之著「親鸞」	保健医療経営大学紀要 第2号、pp. 65～69、2010年 3月
小手川 巧光	Miscellaneous Findings in <i>The Chronicles of Narnia</i> : A trial to find correlations between the life and the works of C. S. Lewis	保健医療経営大学紀要 第3号、pp. 43～53、2011年 3月
小手川 巧光	A Study on C. S. Lewis's Uses of Suffering in <i>The Horse and His Boy</i>	保健医療経営大学紀要 第4号、pp. 65～69、2012年 3月